

〔前原寅吉 略年譜〕



■ 1872 (明治5) 年
2月26日青森県八戸町類家に、正明、しゅうの3男として生まれる。

■ 1873 (明治6) 年／1歳
母・しゅうが死去。

■ 1882 (明治15)／10歳
このころより天文日誌を書き始める。

■ 1883 (明治16)／11歳
父・正明が病死する。

■ 1889 (明治22) 年／17歳
八戸小学校高等科を卒業する。

■ 1905 (明治38) 年／33歳
太陽黒点の観測に成功する。

■ 1908 (明治41) 年／36歳
「天文月報」第一巻第五号に質問が採用される。

日本天文学会特別会員になる。
太陽面観望遠鏡・月の写真を日本天文学会会員に贈る。

■ 1909 (明治42) 年 / 37歳
電話に加入する。(電話番号41番)

■ 1910 (明治43) 年 / 38歳

5月19日ハレー彗星の太陽面通過観測に成功する。
白瀬南極探検隊に星座時計を贈る。
論文第四説発表。

■ 1911 (明治44) 年 / 39歳
論文を印刷する。論文第五説発表。

■ 1922 (大正11) 年 / 50歳
姉の子・義臣を養嗣子に迎える。
この頃より視力が衰え失明に至るがその後も論文の発表を続ける。

■ 1930 (昭和5) 年 / 58歳
「天文論文集」初版が発行される。

■ 1938 (昭和13) 年 / 66歳
養嗣子・義臣が中国で戦死する。

■ 1939 (昭和14) 年 / 67歳
「天文論文集」第二版が発行される。

■ 1950 (昭和25) 年 / 78歳
4月21日、老衰のため永眠。

※資料提供 / 前原俊彦氏